

1. 「都市のイメージ」

今後の鹿児島のまちづくりの目玉となる、スポーツ施設等の整備。都市の魅力向上のために、敷地の選定などを、どのように考えたらよいのでしょうか。



そもそも人々は「都市のイメージ」をどのように認知するのでしょうか。アメリカの都市計画画家、ケヴィン・リンチは、都市の物理的特性に注目し、人々が都市の視覚的形態を構成する

「要素」を抽出し、①エッジ（縁・境界）、②パス（道・通り）、③ノード（結節点）、④ディストリクト（地域、界限）、⑤ランドマーク（目印・焦点）、の5つに整理しました。これらの要素をバランス良く持つ都市は「イメージ」が良い、と考えることができます。

2. 鹿児島のかたち

鹿児島は、桜島と錦江湾、背後のシラス台地に平地を限定され、大都市が形成されにくい地勢にあります。さらに中世末期から、幕政期、近代、そして現代に至るまで、賑わいの中心である「都心」が移動し続けてきた傾向があります。その結果「線状都市」のような性質を帯びているのが鹿児島の特徴ですが、これを先ほどの理論に照らすと「都市のイメージ」を結びにくい、不利な条件であると言えます。

3. 鹿児島の都心空間

鹿児島の「都市のイメージ」向上のためには、まず「線状都市」からの脱却が必要です。そのためには、楽しい境界性（④ディストリクト）をもつ都心空間を、交通の結節点（③ノード）の間に、一定の境界（①エッジ）で囲みながら、育てていく必要があります。そして境界性を認知する焦点（⑤ランドマーク）が必要です。鹿児島には桜島という絶対不動のランドマークがありますが、都心の境界性との関係ではやや遠すぎる気がします。まず中央駅や城山と対をなす、重みのあるランドマークが湾岸地域に必要です。さらには鴨池～与次郎地域にも、都心部南の押さえとなるランドマークが必要です。都市のイメージ向上のためスポーツ施設にはこうした役割が求められるのです。

台湾の姉妹クラブ、高雄東 RC の創立 60 周年の式典に、今回はコロナ禍のため残念ながら参加できません。そこで、お祝いの動画を送ることになりました。「高雄東 RC 創立 60 周年おめでとうございます。また、会える日を楽しみにしています！」と中国語で書かれた横断幕をもって全員でポーズ！定番のおはら節も踊りました。中国語で挨拶された田中会長！お疲れ様でした！



●出席率 80%を目指しましょう！

第 2977 回例会 出席報告		
会員数	出席数	出席率
40(38)名	22 名	57.89%

●今後の予定

12/23(水)	クリスマス例会
12/30(水)	クラブ定款休会
1/6(水)	クラブ定款休会

市内ロータリークラブのプログラム 記帳メークアップ★11：30～12：30 ☆17：30～18：30

RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	12/17(木)	上期反省	サンデイズイン	令和	12/21(月)	例会なし	東急 REI ホテル
北		外部卓話 鹿児島銀行永倉様	アートホテル	東南	12/22(火)	★クリスマス家族会	サンロイヤル
サザン		★夜間例会	東急 REI ホテル	城西		休会	東急 REI ホテル
鹿児島	12/18(金)	★クリスマス家族会	山形屋	西	12/23(水)	★クリスマス家族会	山形屋
アガミー		ガバナー訪問	鹿児島大学	西南		クラブ定款休会	ゆうづき
中央	12/21(月)	会長幹事 上期を終えて	山形屋				